

「主な取組」検証票

施策展開	2-(2)-オ	子どもの貧困対策の推進	施策	⑤ 保護者への支援
			施策の小項目名	—
主な取組	公営住宅への優先入居			
対応する主な課題	⑤貧困状態にある子どもの保護者は、経済的な困難のほか、社会的な孤立や生活上の困難、家庭で子どもと接するゆとりが持てないなどの問題を抱えていることが多いため、生活、住宅、就労等に関する相談・支援のほか、雇用の質の改善や可処分所得の向上に取り組む必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
ひとり親世帯等について、公営住宅の優先入居に向けて取り組む。		H29	H30	R元	R2	R3
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部住宅課		【098-866-2418】			
		県営住宅への優先入居を支援				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
—		—	—	—	—	—	—		○R元年度：ひとり親世帯等を含む子どもを扶養する貧困世帯を一般世帯より優先して入居できるような制度運用に努めた。 ○R2年度：ひとり親世帯等を含む子どもを扶養する貧困世帯を一般世帯より優先して入居できるような制度運用を引き続き努める。
—		—	—	—	—	—	—		○R元年度：— ○R2年度：—

活動指標名	県営住宅への優先入居を支援				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				0 順調
	—	—	—	—	優先入居 の制度運 用	優先入居 の制度運 用	100.0%				
活動指標名	—				R元年度			0 順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			ひとり親世帯等を含む子どもを扶養する貧困世帯(子育て世帯)を一般世帯より優先して入居できるような制度運用に努め、順調に取り組むことができた。	
	—	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R元年度			0 順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
	—	—	—	—	—	—	—				
(2) これまでの改善案の反映状況											
令和元年度の取組改善案					反映状況						
・県営住宅の空家待ち募集のしおり等において、ひとり親世帯等を含む子育て世帯の優先入居を分かりやすく表示し、優先入居制度の活用を促すとともに、市町村・福祉機関等との連携によりひとり親世帯等の掘り起こしを図る。					・県営住宅の空家待ち入居者募集のしおりにおいて、ひとり親世帯等を含む子育て世帯の優先入居を明示し、優先入居制度の活用を促すとともに、実際の入居枠については、一般世帯に比べ概ね2倍の入居枠を確保することとした。						

## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

・ひとり親世帯を含む子どもを扶養する貧困世帯は、依然として多くおり、また物価上昇など貧困世帯を取り巻く社会環境は一層厳しい状況になると見込まれる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・公営住宅の入居申込み等に関する多種多様な相談・問い合わせに対する対応方法について迅速かつ的確に対応する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・公営住宅の入居申込み等に関する多種多様な相談・問い合わせに対し、専門相談員等と連携を図り迅速かつ的確に対応するとともに、適宜福祉機関等への案内などを行う。